

「計画から下山まで」を受講して

第20期 池田 稔 記

○第1日目

開校式からひと月、いよいよ本格的な登山学校の講義がスタートです。他の受講生とはひと月振りの再開であり、少し緊張しながら挨拶を交わすと前回の親睦会の効果か？同じ目標を持つ同志だからか？直ぐに打ち解けることが出来ました。まずは一安心。

第1回の講義は「計画から下山まで」小松先生から、STEP1:「山を選ぶ」、STEP2:「体調管理」、STEP3:「装備を備える」、STEP4:「プランを立てる」、STEP5:「計画書を作る」その他実践に役立つ「コンパスを振る」について解り易く教示いただきました。特に計画書の作るでは、計画書を作成する為には、その山を事前に情報収集、危険等リスクを確認することにより、その山を理解することが出来るとの教示は印象的でした。また、コンパスを振るでは、初めてコンパスを使用するため、理解に若干時間が掛かりましたが、いざ覚えると大変面白く我が家でも山地図で遊んでしまいました。(笑)

私的には、約10年ぶりの座学であり、よい緊張感の中で楽しい時間を過ごすことが出来ました。

○第2日目

久々の山行が嬉しくてなかなか寝付くことが出来ず、また、40歳以上の中高年のため？妙に早起きしてしまいました。(笑)

本日二日目の実技は、晃石山・大平山、約5時間の山行です。コース内容は、整備された登山道、林道、急登や神社、紫陽花の花などを愛でることができるバランスの良いルートでした。それぞれの班編成・役割分担によりスタートをし、前日決めたポイントでコンパスを振って進行方向を確認、また要所で伊藤先生の歩き方講習など、現場ならではの良い講習を受けることが出来た、あつという間のとても楽しい実技講習でした。

グループ山行は、体力の無い人のペースに合わせるなど、今までの私の単独山行では味わえない連帯感を感じる事が出来ました。(今までの私は体力任せでした・・・反省。)また下山後、小松先生からグループ山行は「歩くのは遅くても良いが、その他の動作を機敏にして他に迷惑を掛けないように。」との総評があり、これからの山行の教訓としたいと思います。

講師の皆様、第20期生の同期の皆様お疲れ様でした。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。



「計画から下山まで」を受講して 20期 4班 板橋 理曜(いたばし りよ)記
計画から下山まで

6月13日(土) 机上 武蔵浦和コミュニティセンター

自宅を出る時は初めての机上講習と思うと少々緊張気味でしたが、会場に着く頃には不思議と期待感の方が上回っていました。社会人となってから仕事関連の研修会に参加することはあっても知識がない分野の座学は久しぶり。20年前の学生時代を思い出しながら、集中力を維持するのが、こんなに難しかったなんて?!と感じて終えた1日でした。初めての登山計画書の記入に苦労し、昼休みにはロープの結び方を教えてもらいながら自身の頭の中が、こんがらがらる始末。午後は、購入したけど使い方を殆ど知らないコンパスを「振る」ことを経験。聞いた通りに振れた!と思ったその後に、伊藤講師から優しく「(北が)逆だよ」と指摘され、コンパスに振り廻された?ことが発覚……。注意しながらもう1度、挑戦しOKをいただけたときにはホッとしました。四十の手習いは若い頃のように覚えられないけれど、面白いと感じるのは今の年齢だからだと思っています。

6月14日(日) 実技 大平山

雨が心配でしたが曇り空でのスタートに一安心。大宮駅で待ち合わせて出発。小山までの車内は実行委員の方々に独学では知り得ないことを教えてもらい、大平下までは20期生の方々と山のことを含めて様々なことを話していました。出会ってから3回目ですが、実は軽い人見知りがある自分が馴染めたのは「山」という共通点のおかげだと思います。大平下駅からは班に別れて行動。健脚の班長(Uさん)の後をFさん、副班長(Nさん)、自分以外の女性メンバーSさん、私の順でいざ頂上へ。登りの途中で尾手講師に歩き方を見ていただき、初心者は形から入ることが大事とばかりに講師の真似をして腰に手をあててみましたが、これが案外、難しいことが判明。適切なポジションを取るには、まだまだ練習が必要なようです。登りの前半は談笑していたのですが、徐々に蒸暑さと疲労に心拍数が上がってきて限界かと思っていたところに、Nさんが休憩を申し出てくれ本当に助かりました。小松講師から段差を細かく区切って登ることを教えてもらい速度を落としていくと、休憩の効果もあってか話しながら行くことができました。ただ、暑さに変わりはなく、つい地が出て言葉が悪くなり山口講師から「汚い言葉を使ってはいけませんよ。」と、御注意を受けました。山以外のことで世話がかかる生徒で申し訳ありません。昼食時はホタルブクロ(初めて名前を知りました!)を愛でながら栄養補給。晃石山で三角点に触れた後はSさん、私の順で山口講師とハイタッチ!。麓の田畑の景色や登った山を見つつ下山し、伊藤講師や小松講師に御指導をいただき無事にゴール。今まで人から教わったことがなかったのも、とても勉強になりました。そしてコンパスは5人とも正しく「振る」ことが出来ていました。複数の人との山行は初めてでしたが、思っていた以上に楽しかったです。



心残りは、尾手講師から等高線の話が出たときに思わず「ただの波線にしか見えません。」と即答して、驚かせてしまったことでしょうか。地形図は難しいので、せめて体力をつけて今度は臨みたいと思います。